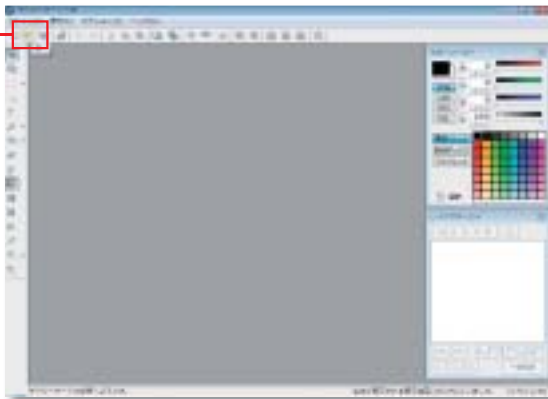


🌕 ホームページ画像の作成

ファイルを開く

- 1 ツールバーから「開く」を選択します。

開く



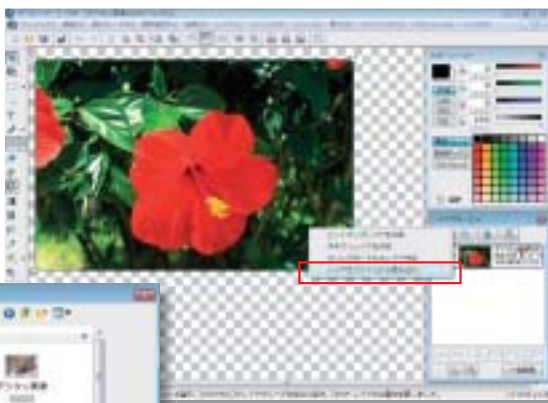
- 2 画像を保存している[ファイルの場所]を選択します。ファイル名(編集をする画像のファイル名)を選択し、「開く」をクリックします。



複数の写真(画像)を読み込むには

- 3 2枚目以降(複数)の画像の読み込みは、[レイヤマネージャ]の[レイヤの新規作成]から[レイヤをファイルから読み込む]をクリックし、②と同様に読み込みます。2枚目以降の読み込みでは、『読み込み設定』が表示されますので、OK ボタンを押して画像を取り込んでください。

2枚目以降に読み込んだ画像は、1枚目に読み込んだ画像の上に表示されていき、順番に重なって表示されます。



作品を作る前にDaisyArt7SEの[レイヤマネージャ | レイヤ]について説明します。

レイヤマネージャ

DaisyArt7SEで読み込んだ写真や作成した画像の管理を行う場所です。



レイヤ

DaisyArt7SEの画像はOHPの透明フィルムのようなもので、多くのレイヤを重ねて1つの画像を作り出す仕組みになっています。この透明フィルム1枚1枚が「レイヤ」です。レイヤマネージャの番号はレイヤの枚数と順番を示しています。最も大きい番号が一番上になり、番号が小さくなるにつれて下になっていきます。

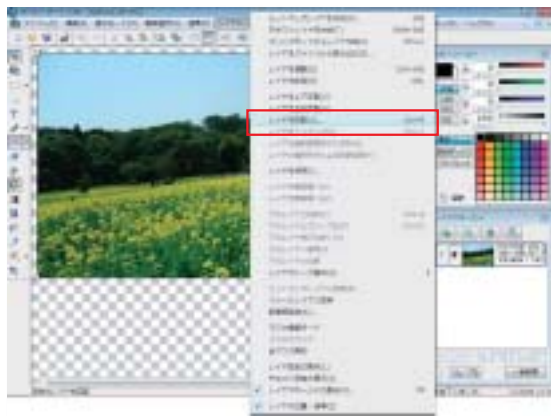


レイヤの移動を試みよう

- レイヤマネージャから移動する画像をクリックして選択します。選択すると画像が青い枠で囲われ、キャンパスの画像の四隅に()が表示されます。
- 選択したキャンパス上のレイヤをドラッグ操作をすると画像が移動します。
- 四隅の()にカーソルを持っていきドラッグをすると画像の大きさを変えることができます。

回転で曲がった画像を戻します

- 1 [レイヤマネージャ] から角度を変える画像を選択します。
- 2 メニューバーの [レイヤ] から [レイヤを回転] を選択します。
- 3 [回転角の指定] のサブウィンドウが表示されます。回転角はサブウィンドウの画像をドラッグ、もしくは角度の値を指定して角度を変更することができます。
- 4 角度が確定したら OK をクリックします。



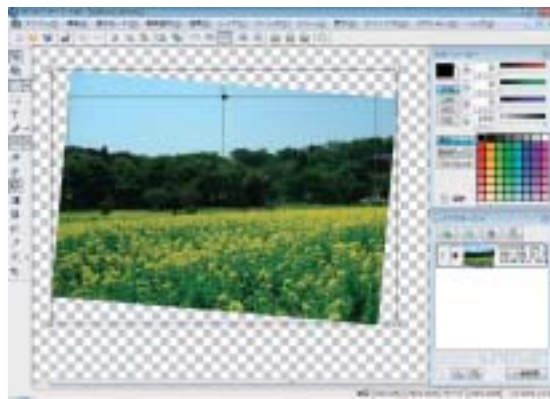
トリミングで画像の余白を切り抜きます

- 1 ツールバーの[範囲選択] から[長方形] を選択します。選択をするとアイコンの横にチェックマークが表示されます。
- 2 カーソル(矢印)の右側に四角いマークが表示されます。ドラッグをするとグレーの線が表示されるので、切り出したい範囲を選択します。左ボタンを離すとグレーの線が緑の点線に変わります。

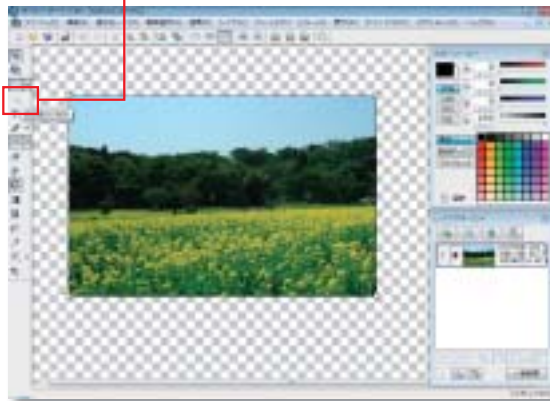
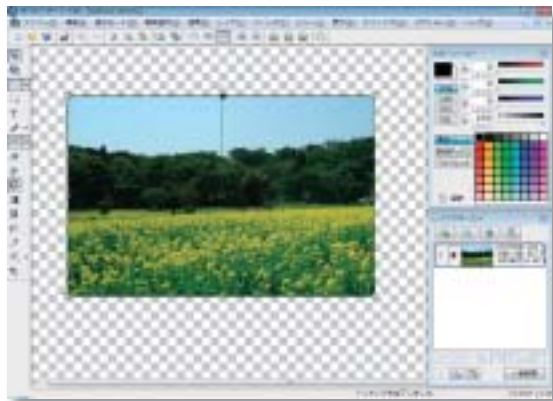
もし範囲選択を変えるときは、左右四隅の()にカーソルを乗せドラッグをすると範囲を変えることができます。範囲選択の形を変えるときは、ツールバーの[範囲選択の解除]をクリックすると緑の点線が消え新たに範囲選択ができます。

- 3 メニューバーの レイヤ から[レイヤをトリミング] を選択します。
- 4 範囲選択の形に沿って切り抜きがされます。
- 5 切り抜きが終わったらツールバーの[範囲選択の解除] をクリックして、範囲選択(緑の点線)を解除します。

範囲選択



範囲選択の解除



自動補正で色を整えよう

- 1 メニューバーの **フィルタ** から **IR自動補正** を選択します。
- 2 IR自動補正を選択することにより、すぐに補正が開始されます。



IR自動補正

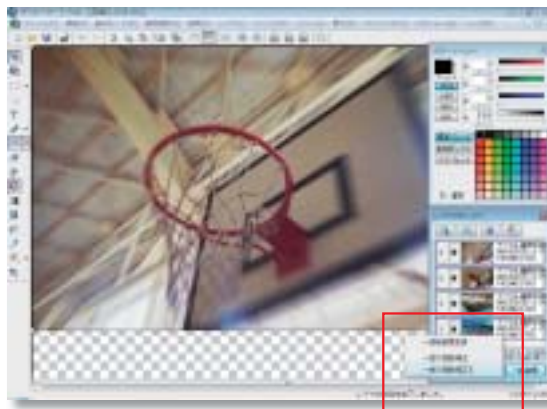
DaisyArt7SEが自動で画像を最適と思われる明るさ・コントラスト・色合いに調整します。画像のよい部分を残しつつ、悪い部分が改善されるよう補正を行うため、より自然な仕上がりとなります。暗い写真を明るくするのに適しています。

IR自動補正

DaisyArt7SEが自動で画像を最適と思われる明るさ・コントラストに調整します。積極的に画像に補正を行うことで、インパクトのある仕上がりになります。逆光の写真を補正するのに適しています。

取り込んだ画像を一括で自動補正

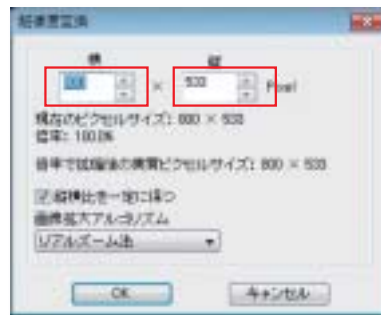
- 1 色補正をしたい画像を全て同じキャンバスに取り込みます。レイヤマネージャのレイヤを **ctrl+左クリック** で全て選択します。(レイヤが青い枠で囲われているのを確認します)
- 2 レイヤマネージャの右下の **一括処理** を選択します。用途によって **一括IR自動補正** もしくは **一括IR自動補正** を選択します。選択した全ての画像に自動補正が行われます。



解像度変換をしよう

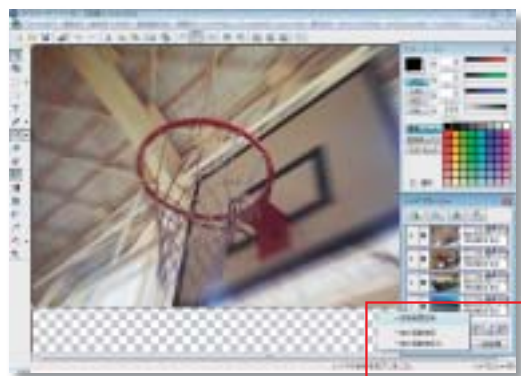
- レイヤマネージャから解像度変換をする画像を選択します。
- メニューバーの **レイヤ** から **解像度変換** を選択します。
- 解像度変換のサブウィンドウが表示されます。
- 縦、横どちらかの入力枠に指定する解像度の値を入力します。
どちらから片方を入力すると自動的に値を算出して同じ比率で、もう片方の値が入力されます。
- OK をクリックすると設定した解像度になります。
縦横の比率を自動算出しないで、自分で設定する場合は、解像度変換のサブウィンドウの **縦横比を一定に保つ** のチェックマークをクリックして外します。

(詳細はソフトウェアマニュアルの38ページを参照)



取り込んだ画像の解像度を一括で変換

- 解像度変換をする画像を全て同じキャンバスに取り込みます。レイヤマネージャのレイヤを **shift+左クリック** で全て選択します。(レイヤが青い枠で囲われているのを確認します)
- レイヤマネージャの右下の **一括処理** を選択します。 **一括解像度変換** を選択します。選択した全ての画像に同じ解像度の変換が行われます。



保存をしてみよう

- メニューバーの **ファイル** から **形式を指定して保存** を選択します。
- 保存する場所** から保存先を選択し設定します。
- ファイル名** を入力します。
- ファイルの種類** をプルダウンメニューから選択します。
ここではJPEGに設定します。
- 保存する場所** **ファイル名** **ファイルの種類** の指定・入力が終わったら **品質** を設定します。

JPEGの場合だけ **品質** の設定をする必要があります。

品質は値を上げれば画質は良くなりますが、その分ファイル容量は大きくなります。反対に品質を下げるとファイル容量は小さくなりますが、画質が粗くなります。通常は 80 くらいにすると綺麗に保存できます。もし、文字がある場合は 90 以上に設定しないと、文字にジャギが出てギザギザになってしまいます。

- 保存** をクリックして保存が完了になります。

